

合格体験記⑦

早稲田大学 教育学部

【大学の種類】私立

【キャンパス】早稲田キャンパス（東京・政経，法，教育，商，社会学，国教）
戸山キャンパス（東京・文構，文）
西早稲田キャンパス（東京・基幹理工，創造理工，先進理工）
所沢キャンパス（埼玉・人科，スポ科）



～大学 info～

【設置学部】

政治経済学部・法学部・文化構想学部

文学部・教育学部・商学部・基幹理工学部

創造理工学部・先進理工学部・社会科学部

人間科学部・スポーツ科学部・国際教養学部

【学生数】38,685人

【豆知識】

いわゆる「早慶上理」の「早」。看板学部は政治経済学部と言われています。ワセメシは「うまい・安い・大盛」なんだとか。留学生も世界各国から集まり、いろんなことを勉強することができる大学です。ほとんどの人がこの大学を知っていることでしょう。

＜現役合格をできた勝因は？＞

振り返ってみて現役合格することができた勝因についてですが、何よりも絶対に受かりたいという気持ちが大きく左右したと思います。**受験直前の半年についてはほとんど趣味の時間はありませんでしたし、今思うともものすごい量の勉強をしていたと思います。**受かりたいという強い意志があれば、多少の困難にも打ち勝つことはできます。E判定だろうと、受かりたいという意思があれば、目標に向かって努力することができます。努力することでしか、自信はつきません。まずは一カ月、一週間、一日ごとのスケジュールを立てて、計画的に合格に向かって努力をしていってください。

＜1、2年次生へ＞

先輩としてのメッセージですが、**人生において受験期ほど勉強する機会など絶対にありません。**私は大学生になって、授業を除けば机に向かうことなどレポートを書くこと以外ありません。胸を張って言えることではないかもしれませんが、大学生は本当に自由で楽しいです。**受験期に我慢したことなど、一ヶ月もあれば確実に取り返すことができます。**我慢して必死に努力した末の大学生活。これほど魅力的で素晴らしい日々はありません。皆さんも今しかやる機会はないのですから、必死に頑張ってください。その先にある輝かしいキャンパスライフを夢見て。

＜大学での生活は？＞

私が通う早稲田大学の周辺にはワセメシと呼ばれる、定食屋やラーメン屋が立ち並んでいます。生協も本キャンには2つありますが、ワセメシを食べる学生が大変多く、卒業までにすべての店を制覇するということは至難の業です。早稲田は意外と遊ぶところが少なく、早大生の多くは高田馬場という早稲田から一駅の街を中心に遊んでいます。友人と喋りながら高田馬場まで歩き（通称、馬場歩き）、カフェやファストフード店で喋るもよし、カラオケやビリヤードで遊ぶもよし。本当に根室では考えられないような充実した環境に包まれています。

大学の授業は自分で時間割を決め、必修科目以外は自分の興味のある授業を選択することができます。私が取っている授業で一番おもしろいのは、「台湾を知ろう」という授業で台湾出身の講師の方が台湾の歴史や文化について講義をしてくれます。しかし、早稲田の授業の大きな特徴には、おもしろい授業がたくさんあることです。友達の中には「恋愛学」という授業を取り、講師にオリエンタルラジオの藤森が講師として授業をすることもありましたし、実際の映画監督を講師に迎えた講義を受けることもできます。